

中野市の未来・・・ともに考え、行動してみよう！

(試行錯誤しながらでも進んでいく、まちづくりの様子を「N(中野)」の矢印で表現してみました。)

なかの若者WS つうしん

第5号(最終号) (平成27年3月2日)

1. さあ、いよいよ最後の提案発表会です！

いよいよ最終回となる、「第5回若者ワークショップ」が、ホームグラウンド、中野市民会館会議室にて行われました。

議論や作業の成果を提案発表する場ということで、多くの市民や市職員のみなさまにもお越しいただき、これまでとは全く異なった雰囲気。和気あいあいとやってきたところから、いきなり大舞台に立たされるのですから、戸惑いや多少の気後れがあっても当然です。



2. プレゼンテーションも自分たちらしく ~ We did it!

3グループごとに、早速発表です。グループ名の由来から、コツコツ積み上げてきた成果へと。特に今後の取り組み、やりたいことに関しては、各グループとも熱のこもった説明です。高校生から大人の世代まで、それぞれが自分の思いをグループとして消化しながら伝えようとする姿は、最後までとても頼もしく、素敵でした！ あっという間に時間は過ぎていきます・・・。



3. 質問や意見交換などの交流を通じ、考えも広がります



一方的な熱い説明だけでも困るので、質疑応答の時間も設けました。市長さんや市民の方から、鋭い質問もビシバシ飛び交います。事業に関する具体的な内容の確認や、この場限りでなく継続していく大切さを指摘するご意見など。なるほど、そうだよな、と思わせるやりとりが続きました。

こうして、メンバーみんなの思いが、より広がりを持って受け止められるようになります。

4. ほっとする気持ちと、ちょっとした寂しさと・・・お開きです

最後に池田茂市長より講評をいただき、全5回に渡る「若者ワークショップ」は無事、お開きとなりました。

短い時間・回数の中なかで、みなさんは精一杯、できることをやり切りました。時には運営側のムチャ振りもしっかりと咀嚼し、こうしてこなせるのですから、中野市若者世代の力や柔軟性は大したものですよ。今回のプログラムでは、そんなみなさんのポテンシャル・可能性の一端を見せていただきましたが、中野市まちづくりという視点で言えば、これも一つの節目に過ぎず、こうしたことを続けたり、ほかで活かしていくことが大切になってきます。

提案内容が現実になったり、いろんな意見のやりとりが広がっていったり・・・進み方はそれぞれでしょうが、「まちづくりは、ゴールが見えないからこそ面白い」、そんな姿勢で、いろんな試行錯誤が今後も活発に続いていくことを願ってやみません。みなさん、本当にお疲れさまでした！ ありがとうございました！！

— 編集後記 —

先の見えない航海というのは、なかなか辛いものです。「ワークショップって？」「何やらされるの？」という方ははじめは多かったと思いますが、最初の自己紹介を聞いて、「これはそこそこいけるかも？」と私は思っていました。真摯で、謙虚で、でも、自分の意見を持っている・・・そんな人たちが集まれば、プラスアルファも生まれるものです。最後まで、こちらの想定以上に力強く取り組んでいただきました。大したお手伝いはできませんでしたが、これからも細く長く？みなさんのご活躍を応援しています。またどこかでお会いしましょう！（支援事業者：第一企画株式会社）

グループA 「チーム大地」 ～ 2/10 (火)



グループB 「アタック&クラッシュ」 ～ 2/10 (火)



グループC 「ばかうけ」 ～ 2/10 (火)





【真面目パターン】



【普段のパターン】

～ みなさん お疲れ様でした またいつか… ～